

雇用・就業の場が拡大しています

（株）奥州コールセンター

5月に立地した（株）奥州コールセンター（鈴木孝一社長）は7月17日、水沢区中上野町の同社で開所式を行い、本格的な研修業務を開始しました。同社は、コールセンター業務を行う（株）DIOジャパン（本社・東京都中央区、小島のリ子社長）が、被災地の雇用創出を目的に子会社として設立。現在、88人を雇用し、市内で研修を行っています。

今後は、100人規模まで雇用を拡大し、観光・旅行・宿泊の予約受付などを中心とした研修業務を行います。



開所式であいさつをする小島のリ子社長



竣工した新工場の外観

（株）エス・エス・シー

自動車用の鋼材を加工する（株）エス・エス・シー（本社・愛知県、谷本豊治社長）東北工場の竣工式が7月24日、江刺区の江刺フロンティアパーク内で行われました。同社は、関包スチール（株）、住友金属工業（株）など4社の合弁会社で、東北を国内第3の拠点と位置付けるトヨタ自動車（株）の生産拡大に伴い進出。7月からトヨタ関連のメーカーに供給を開始しています。

現在、従業員13人のうち地元採用は6人ですが、5年後までに地元雇用者を20人まで拡大する計画です。

（株）小川キャンパル

江刺区の空き工場に進出を決めたキャンパル用テントやアウトドア用品などを製造する（株）小川キャンパル（本社・東京都江東区、玉浦裕一社長）と市の立地調印式は7月27日、市役所で行われました。同社は、需要の増加する防災関連用品の生産も行っており、初の自社工場では新商品の企画・開発から製造までを担う国内拠点とする計画。当初は地元から15人程度を雇用し、8月から協力工場での研修を行い、12月上旬に操業を開始する予定です。



固い握手をする玉浦社長（中央）と小沢昌記市長

奥州イブニングサロンを開催



自社のアピールをする若手社員

みちのく奥州イブニングサロン（世話人会主催）が7月5日、水沢区横町の市まちなか交流館で開催され、市内の企業関係者ら約40人が参加しました。同サロンは、産学官民連携や異業種間交流の場として平成20年にスタートし、今回で8回目。岩手大学の研究成果発表、県外企業の技術紹介に続き、市内企業などによるアピールが行われました。

市—ILC推進連絡協議会が発足

市国際リニアコライダー（ILC）推進連絡協議会の設立総会が7月6日、江刺総合支所で開かれ、39団体で発足しました。会長には小沢昌記市長を選任。規約や役員の承認のほか、本年度事業としてILCに関する情報提供と、東北誘致に向けて連携していくことを決定しました。総会後は、ILC東北誘致についての講演会も行われました。



発足の狙いを情報発信と連携と語った小沢市長

雇用の維持・拡大を各団体に要請



かいほこまもる 海鋒 守 副会頭に要請書を手渡す小沢昌記市長

市は、水沢公共職業安定所と県南広域振興局とともに7月11日、奥州商工会議所など9団体を訪問し、「雇用の維持・拡大を求める要請書」を手渡しました。

この要請は、安定的な雇用の確保や新規学卒者の採用枠の拡大などを求めたものです。少子人口対策や定住化の面からも雇用の場の確保は重要課題となっています。

都内で市をPR



東京ドームでうちわとパンフを配布

なんとこい奥州誘客促進会議（市・観光関係団体で構成）では、7月20日から22日の3日間、東京都内3カ所で首都圏誘客促進キャンペーンを展開しました。

これは、秋・冬の旅行シーズンに向け、市への観光客を誘致しようと開催したもの。東京ドーム、中野サンプラザ、イトーヨーカドーアリオ北砂店で物産販売のほか、特製うちわや観光パンフレットなどを配布しました。多くの人が足を止め、スタッフの説明に熱心に質問する場面も見られました。

共同仮置場の設置に向け検討を開始

市は、放射性物質の除染に必要な共同仮置場の設置に向けて、検討を開始しました。この仮置場は、除染により除去した汚染土壌などを一時保管するもので、自治区ごとに1カ所から数カ所を設置する予定。7月10日の江刺区を皮切りに検討会を設置し、候補地の選定など協議を進めています。仮置場の設置で、除染が円滑に進むことになります。



小沢昌記市長が委員へ概要を説明（前沢会場）

地区要望を聞く会が始まる



伊藤敏男衣里地区振興会長が要望書を提出

地区要望を聞く会が7月20日、衣川区を皮切りに始まりました。この会は、小沢昌記市長をはじめ、市の幹部が各区に出向き、地区振興会からの要望を直接伺う機会として、毎年開催しているものです。本年度は8月7日まで各区を巡回し、要望を受けました。要望への回答については、内容を精査した後、11月をめどに回答する予定です。



くわ入れを行う小沢昌記市長

25年8月に完成予定の前沢区統合小学校の工事安全祈願祭が7月19日、前沢区字河ノ畑の同校建設現場で行われ、

関係者約60人が出席し、工事の安全を願いました。神事に引き続き、小沢昌記市長が「建設される学びやは子どもたちを育てる基本になるもの。技術とともに真心を添えて工事にあたってほしい。再来年の開校に向け、それぞれの責任を果たし、努力していきたい」とあいさつしました。